

いなむびり

平成28年11月発行
発行者 衆谷 宗久
編集 まちづくり協議会
広報

伊那佐地区まちづくり協議会共催事業

アクティブ祭り

『伊那佐の文化祭』

について

伊那佐地区まちづくり協議会

福祉部会 西岡 博文

アクティブセンターうだと伊那佐地区まちづくり協議会共催のもと、去る9日11日(日)に第6回アクティブ祭り「伊那佐の文化祭」が盛大に開催され、400名を越える参加者がありました。昨年同様福祉部会として協力させていただき、今年は地域の方も借りて未使用品バザーに取り組みました。最初は売れるかどうか心配していたところですが、時間が経つにつれ徐々に人が集まり、出品の9割近くまで販売することができ、一安心でした。おかげさまで1万5350円の売上があり全額「赤い羽根」に募金させていただきました。ご協力いただいた皆さまありがとうございます。

今日まで、伊那佐地区まちづくり協議会福祉部会としては、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし



ひとりが大切にされ、共に支え合う地域づくりを目標に取り組んでいるところです。

この催しを通じて今後、行政や福祉関係者だけでなく住民を含む、地域全体で取り組んでいくことが必要であると考えます。

障がい者が安心して生活できる社会は、すべての住民にとって住みやすい社会であることを意識し、幅広い関係者が連携した取り組みが求められているのではないのでしょうか。

まちづくり協議会は、伊那佐地区住民だけでなく自治会には参加していないが、活動されている全ての人々を結び組織です。

アクティブセンターうだ

岸本 ゆかり

アクティブまつりは今年で6回目を迎え、昨年同様、伊那佐地区まちづくり協議会に共催としてご協力をいただき、より盛大に開催することができました。

今年も、企画や準備の段階からまちづくり協議会をはじめとする地域の方々にご参加いただき、今年のテーマ『魅せる、つたわる、つながる』を共有しながら当日を迎えられたことは、地域とともにあることを目指している私たちにとって、大変うれしいことでした。

まち協防災・防犯部会からは消防自動車を展示していただき、参加者のみなさんに写真撮影等楽しんでいただきました。福祉部会のみなさんは地域のみなさんの協力で未使用品を集めバザーを実施していただきました。役員のみなさんは、値札付け等苦労いただいたことと思います。

また、山口農園さん、ハンサムガーデンさん、陽光ファーム21さん方にご出店いただき祭りを盛り上げていただきました。

行き届かない点多々あったと思いますが、みなさんが主体的に取り

組んで下さったおかげで、参加者のみなさんには楽しく過ごしていただくことができました。当日は出店いただいたみなさんの手伝いや声がけもできず、『せっかく出店していただいたのに話すらできず残念だった』というスタッフの声もありました。

来年はその点も改善できるように体制を整え、更につながりを深められる祭りにしたいと考えております。

これからも地域の方々と共に『誰もが暮らしやすい地域』を目指して、日々の活動や来年のアクティブ祭りに向けて取り組んでいきますので、今後ともご指導、ご協力の程をお願い致します。

アクティブセンターうだ

奥田 真由

アクティブセンターうだが伊那佐に移転して、9年。地域の方に、アクティブセンターうだを知っていただきたい、そんな思いで始めた祭りも6回目を迎え、たくさんの方に来ていただきうれしく思っています。伊那佐地区の皆様にはご協力もいただき、感謝しております。

当法人では、「生きづらさ」のあるすべての人が「当たり前」に自分らしく暮らすことができる、そんな地域を目指しています。障害福祉という枠にとらわれず、福祉と地域の存在としての役割を日々模索し、活動

を続けており、「祭り」は、一年に一回のイベントとしてあるだけでなく、それを通して互いの顔が見える機会と捉えています。

希薄化する現代の人間関係。宇陀では、昔ながらの習慣が残っていることも多く、都会に比べるとお隣さんお顔を知らないというようなことはいないかもしれません。でも、多くの町でその希薄化を危惧し、地域コミュニティの再生もしくは新たな形成に取り組んでおられます。宇陀もすべてのひとが安心して暮らしやすい町とは言い難く、これからの町づくりをここに住む私たちが考えていかなければなりません。

これまでこの国が経験したことのない、少子高齢化の時代が到来します。加えて、過疎化という問題も抱えており、互いに支え合える新たな地域コミュニティのあり方を一緒に考えていきたいと思えます。

有限会社山口農園

教育部 上 竜樹

この度は、イベント開催お疲れ様でした。当日は台風の鋭気用が懸念されましたが、良い意味で期待を裏切ってくれたことをうれしく思います。さて、今回の感想ですが、出店者としてはとても運営しやすかったイベントだったと思います。

生鮮野菜を現地で袋入れを行い、



販売を行う予定だったので、控え室を用意していただきとても助かりました。また、今回出店場所が室内だったため、野菜が萎れることもなく、販売を行うことができました。さらに、目玉イベントになっていたバザー会場までの通路が出店場所だったため、来場者の流れがあり多くの方に商品を見ていただけたことにより終了時間ギリギリにはなりませんが完売で終わることができました。

参加者の目線の感想ですが、時間ごとにイベントが催されており非常に楽しい時間を過ごすことができました。また、スタンプラリーが開催されていたため、会場を子どもたちが駆け巡っておりすごくにぎやかな雰囲気を感じました。

気になる点も何点か目に付きました。一つは校舎への入り方です。もう一つは、バザーの商品のことです。お昼に来られた方から「会場に来たけど商品がなかった」という声も聞きました。

イベントは続けることに意義があり、いかにリピーターを確保するかというところがポイントだと考えます。「楽しかった、来年もまた来たい」と思えるような内容になればと考えます。

陽光ファーム21

栗谷 弥佳

今回初めて参加させていただきました。卵の販売を通してアクティブセンターのみなさんや地域のみなさんと交流を深めることができてとても良かったです。自分が通っていた小学校が廃校にはなりましたが、有意義に使われている事がとても嬉しく、校舎が懐かしかったです。障害がある無しにかかわらず、共に助け合い生きていける社会を目指し、アクティブまつりを通じて今後もより交流を深めていければと思います。

普段、あんなにたくさんの方々と触れ合える機会がなかなかないので、アクティブに参加させてもらえて素晴らしい経験ができました。また、飲食ブースからは美味しそうなおいがして、実際食べたら美味しくてもお腹も満たされました。

ハンサムガーデン

田村 朋子

天候を心配しておりましたが、当日無事開催でき、また、お客様もたくさん来ていただき何よりでした。

出店者としては、生もの（シイタケ・茄子）は終了ギリギリにはなりませんが、完売できました。また、地域の方々とお話しできたり、商品を紹介できたりした点は良かったです。



参加者目線の感想になりますが、事前告知も市内各所にポスター等設置されていた点、当日、来場されたみなさんが楽しめるようなイベント（音楽ステージ・スタンプラリー・バザー等）工夫されて実施されており、今回のテーマの『魅せる、つたわる、つながる』がしっかりと実現できていたと思います。しかし、今後の改善点としては、どこに何があるかの掲示をわかりやすくした方がよいのではないのでしょうか（スタンプラリーのカードの問い合わせが何件もありました）。



交通安全指導について

防災・防犯部会

防災・防犯部会では、春の交通安全運動中だけでなく、月初めに小学生や幼稚園児の登校時にあわせて交通安全指導を安全協会の役員さんで行っています。特に、比布の信号では、点滅時間が長いいため赤になっても通過していく自動車があります。ドライバーのみなさんに注意を促していきたいと思います。



伊那佐ニュース

◆比布文化祭

8月21日、比布で毎年行われている文化祭に行ってきました。この行事は2部制になっており、第1部は夕方5時から地蔵盆、

その後の第2部として5時半ごろから比布文化祭が行われているそうです。比布の方にお訊ねすると「昔はみんなで盆踊りをしていましたので、踊り手が少なくなってきたので、お楽しみの機会を増やした」のだとか。会場設営、運営、催事構成もすべて手作り。特に組み立て式の舞台は大工さんの多い比布ならではのようです。

文化祭前半は榛原の太鼓集団「榛（はる）」の登場です。文化祭に演奏者を呼ぶのは初めての試みだとか。榛のメンバーが先導して参加者に手拍子で参加を促します。最初は少し遠慮がちだった参加者も次第に慣れて、最後には奏者と参加者の見事なコラボが完成。会場がひとつに盛り上がりました。

中盤、福角毅さんの農場で食と農の取り組みを研究されている大石尚子龍谷大学准教授のゼミ生たちが栽培した無農薬枝豆「まめこ」の紹介がありました。この「まめこ」は会場に試食ブースで振る舞われました。

さて、後半はお楽しみのカラオケ大会です。合いの手あり、アドリブありで笑い声があちこちで湧きあがりました。龍谷大学の学生たちも「ヤングマン」熱唱で若いパワーを放出していました。

そして最後は盛りだくさんの豪華景品がならんだ福引大会で幕を閉じました。

噂に聞いていた比布文化祭。想像以上の参加者の多さと盛り上がりでした。あらためて戸数の多い比布のムラビトの層の厚さを感じ、団結パワーの源を見たような1日でした。



◆伊那佐山ハイキング

好天に恵まれた11月13日に伊那佐地区体育協会主催の伊那佐山ハイキングが行われました。

当日は絶好のハイキング日和になりました。参加者は3歳から70歳過ぎまで総勢58名。参加者の服装もリュックにノルディックと完全武装の方や、軽装の方、中にはペットのワンちゃんまで参加してくれました。「子どものころ登ったきり久しぶりや」という方、「嫁いできて登るのが初めてや」という方、色々な話をしながらの登山でした。

山頂には都賀那岐神社が祀られており、参加者全員がそれぞれの思いを書いた絵馬を奉納しました。この絵馬は八咫鳥神社の御造営工事に従事された大工さんのご厚意で作っていただいたものなのだとか。

山頂での記念撮影の後、下山です。途中他のハイカーの方にも出会い、すれ違う人々への挨拶も子どもたちにも教え、ハイキングの心得等の教育にもなったようです。

出発とゴールが旧伊那佐小学校というところで、休憩も含めて約3時間の行程でした。けが人やリタイアもなく無事全員ゴールし、お楽しみの抽選会でやることができました。良き時間を参加者と共有できたことに感謝しつつ、もし来年も開催されるなら、ぜひ参加したいと思いました。



伊那佐の里 歳時記

(十二月から翌三月末まで)



池上

一月 どんど
二月二日 春日講御社渡し

石田

一月二日 大祓
一月一日 初詣
一月 どんど
二月一日 涅槃講

大貝

一月四日 新嘗祭・大祓
一月一日 初参り
一月 どんど
三月第一日曜 おんだ祭

栗谷

一月二七日 春日神社
若宮おんまつり
一月 春日神社
新年拜賀式
二月一日 大涅槃会
三月三日 桃の節句

澤

一月二日 年越し参り
一月 どんど
三月第二日曜 春季慰霊祭
初午
三月第四土曜 お田植え祭
二の午

三宮寺

一月二三日 新嘗祭・大祓
一月八日 どんど
一月九日 伊勢講
一月六日 御忌
二月二六日 春会式(春祭り)

高塚

一月 どんど・日待ち
伊勢講
二月 庚申
二月 涅槃会
三月 彼岸
三月 七塚参り



比布

一月二日 年越参り・初参り
一月 どんど
二月五日 涅槃会
三月二三日 結岸

福西

二月四日 庚申講
二月二日 終弘法
二月二五日 大祓式
二月三日 大晦日(年越し)
一月 どんど
一月 初大師
二月 庚申講

母里

二月三日 大祓
一月 どんど
三月 春の彼岸会

山路

二月八日 お不動さん
一月一日 初詣
一月三日曜 日待ち
一月二八日 初不動さん
三月三日曜 彼岸茶
三月第四土曜 お不動さん
(大般若経)



※各行事の詳細は、それぞれの大字にお住まいの方にお尋ねくださいますようお願いいたします。



【編集後記】

前回の広報誌「いなさびと」を発行しましてから矢のように時間が過ぎ、驚いております。この8月から11月にかけての出来事を広報部なりにチョイスして掲載させていただいております。今回、誌面の関係で掲載できませんでした八咫鳥神社の御造営につきましては次号に持ち越しとさせていただきます。何卒ご了承くださいませ。広報部では今後とも皆様と情報を共有しつつ、それぞれの特性を活かして、無理のない編集活動を実践していきたいと考えております。皆様もぜひともご協力のほどをお願い申し上げます。